

祝 北陸新幹線敦賀開業 各地で歓迎一色に染まる



新幹線の周りに集まる人々

敦賀駅は先月の試乗会以降いくつかわ変化していた。まず、一階コンコースに設置された高さ二・八m、幅十mの巨大デジタルサイネージだ。嶺南六市町の観光地や食などの映像、交通情報、ニュー

早朝六時、敦賀駅の幹線ホームには東京行き一番列車に乗る人や見学する人が全国から集まった。金沢から来た男性は「二〇一五年の金沢開業の際も始発列車に乗車することができたので今回も乗って記念にしたい」と楽しみに語り、出発の時を待っていた。そして、六時十分、かがやき五〇二号が、集まった人々が見守る中、甲高い汽笛

敦賀駅

三月十六日、ついに北陸新幹線が敦賀まで延伸され営業運転が始まった。敦賀駅ではいくつものイベントが開催され、県内外から人が集まり、開業を祝う様子が見られた。また美浜駅でもカフェやキッチンカーが集まり賑わいを見せた。



ついに東京行きの文字が現れる



誘導線に従いスムーズな乗り換え

を鳴らし、ゆつくりと発車した。一番列車を見送るために東京から来た男性は「二〇一九年に初めて北陸新幹線に乗り、その思い出が忘れられず今回も訪れた。西九州新幹線の一列車を見送った時の熱狂を思い出した」と話した。

出入口の名称は親しみやすいものになった。従来からの西側出入口は通称「まちなみ口」、新幹線駅舎を挟んで反対側は「やまなみ口」と呼ばれる。「やまなみ口」には駅前広場と二四台停め

スなどが表示される。また大型ビジョンも二台設置され、北陸三県の情報を発信する。北陸の魅力を知ってもらうよい機会となるだろう。また、JRの乗り換えシミュレーション時に予想よりも時間がかかってしまった点を改善するために、床に誘導線を表示した。一日二万七千人と試算される乗換客が迷わず移動できるよう工夫された。



観光地が大画面に表示される

美浜駅では美浜町制施行七十周年と北陸新幹線敦賀開業を記念して「美浜駅つながるフェスタ」が開催された。会場は地元や学生や企業など多くの団体による出店やキッチンカー、抽選会で賑わいを見せた。美方高校か



スイーツを購入するお客様

らは「ガチャ旅」と「ミルクプロジェクト」の二グループがこのイベントに協力した。ガチャ旅には七組の家族連れが参加し、出発前から小浜線での旅を楽しみにしている様子が見られた。ミルクプロジェクトではカフェを出店し、牛乳を使ったシエイクや焼き菓子など全七種類を販売した。カフェには小学生や親子連れなど約一五〇人が訪れた。イベントを通して美浜町長の戸嶋秀樹さんは「学生の力で地元をもっと盛り上げてほしい」と私達のこれから活動に期待している。

美浜駅

を行なった。大和田伸也さんと西川貴教さんもセレモニーに参加し開業を盛り上げた。

られる駐車場が整備された。二つの出入口を繋ぐ連絡バスも運行される。十六、十七日は敦賀駅前が歩行者天国となり、日本各地の自治体や団体がブースを設置して、PRや物販など



開業を祝う
ブルーインパルス